

藤樹人間学塾… 「藤樹思想を学び考え実践する」

塾長 田中 清行

「藤樹人間学塾」では、藤樹先生の著書を中心に藤樹思想を学ぶとともに、今日的意義を自分の頭で考え、

仲間と議論しながら考えを深め、日々の生活の場で実践することを目的に毎月原則第一土曜日の午後、開催しています。本稿ではその模様をお伝えいたします。

五月十九日（土）午後、第81回人間学塾を安曇川公民館で行いました。

高島藤樹会の活動

『中庸解』の「喜怒哀楽の未だ発せざる、これを中といい、発して皆節にあたる、これを和という」の項を学びました。喜怒哀楽のまだ発生していない時を中といい、心は純真であるが、喜怒哀楽を発すると万欲が起

こって中を離れる。これを慎独の工夫することにより、和（庸）となる。フリートキングでは、欲について考えました。人間が肉体を持っている以上、欲が起るのは自然の事である。しかし必要以上のものを求めたり、欲が衝突すると世の中は争

いが絶えなくなる…。

本来、自分の身体は天地から与えられたものだから、富や地位を得ても他を利用するように行動すると全てが上手くいく、と話しました。

六月二日（日）午後、第82回人間学塾を安曇川公民館で行いました。

『中庸解』の「中は天下の大本なり和は天下の達道なり」の項を学びました。中（良知）は、天地万物の根本であって、すべては中から造化している。人が慎独の工夫をして和の境地に達すると、天地万物に通じて妨げるものがなくなるという内容です。

すなわち私たちの身体は、大宇宙と繋がっており、これに加えて心も大宇宙と繋がるように利他の精神で行動すれば、日々の生活の中で妨げるものがなくなり、すべてが順調に運ぶということです。



フリートキングでは、道にゴミを捨てた人に対する怒りの感情のコントロール方法とゴミを拾おうとする時の気持ちの持ち方等について話し合いました。

塾終了後は、場所を替えて懇親会で楽しみました。

七月七日（土）午後、第83回人間学塾を安曇川公民館で行いました。最初に円覚寺の横田南陵管長の禅宗の僧がなぜ観音経を読経するのか、の話をしました。

その後、『中庸解』の「中和を致して天地位し、万物育す」の節を学びました。学問修養によつて中和に至ると天地と一体になって災害もなくなり、人も物も安らかになるというもの。

フリートキングでは、人の心が和になれば世の中が変わる。他人の喜びを自分の喜びとすると幸福観がある。子供の純粋な心に教えられることがある。日本文化が生き残ってきた理由が分かった等の意見が出ました。

八月五日（日）午後、第84回人間学塾を安曇川公民館で行いました。

まず脳科学者、中野信子さんの話を紹介しました。最新の脳の研究により、人は「利他の行動」をすることで愛情ホルモンが分泌されて高い幸福感が得られることが発見されたとのこと。

「中庸」と「孝の思想」を図示して、それに脳科学の利他の行動の話を入れると、皆さんよく分かったと言っていたいただきました。

フリートキングでは、高島市の人には、人に親切にという心が自然に備わっているという意見や、村天風の絶対積極人生観と藤樹の「孝」の思想とは繋がっているという話も出ました。

学習会終了後、場所を替えて懇親会を行いました。長野県から来られた滝澤様からもいろいろお話をお聴かせていただきました。



「藤樹人間学塾 今後の予定」

9月1日（土）、10月7日（日）、
11月3日（土）、◎12月1日（土）、
1月5日（土）、2月2日（土）、
◎3月2日（土）

◆時間 15時～17時（原則）

◆場所 安曇川公民館

◆◎印は塾を終了後、別場所で懇親会あり